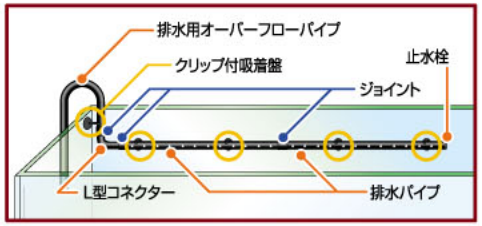
05 設置方法／ろ材の確認

テトラ ユーロエックスパワーフィルター 120 の場合

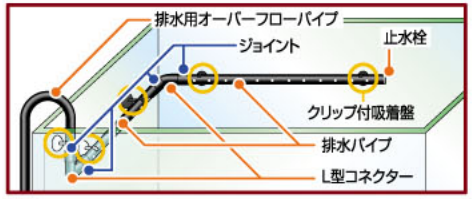
6-B-2 吸水・排水パイプのセット

その他のセット例 大型水槽（120cm以上）や水槽の奥行きが55cm以上ある場合、あるいは排水パイプを使用しない場合は、下記のようなセットも可能です。付属のパーツを利用し、工夫してご活用ください。

❶水槽幅120cm以上の場合
ジョイントを利用し、排水パイプを2本使用できます。



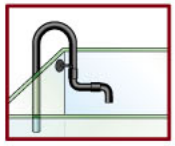
❷奥行きが55cm以上ある水槽の場合
L型コネクターを2個使用し、排水パイプ2本をL字に曲げてご使用いただくこともできます。



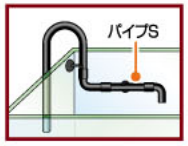
（注意）排水パイプ2本接続した場合、シャワーから排出される水流が弱くなります。

❸排水パイプを使用しない場合

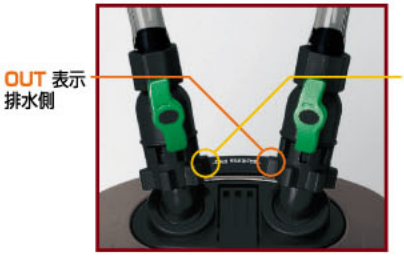
1）L型コネクター2個をジョイント2個で接続した場合



2）L型コネクター2個とジョイント、パイプSで接続する場合



❸ 吸水・排水ホースを取り付けます。



- 吸水はホースアダプター **IN**表示側です。
  ホースを吸水パイプへ接続し、ホース固定用ネジでホースを締め付けて、水が漏れないようにします。
- 排水はホースアダプター **OUT**表示側です。
  ホースを排水パイプへ接続し、ホース固定用ネジでホースを締め付けます。

ホースは途中で折れ曲がったりしないよう、なるべく短めに切断してください。

7 セット完了

EuroEX60 / 75 / 90の場合
EuroEX120の場合

すべての接続が完了いたしました。



※写真はテトラ ユーロエックスパワーフィルター90のセット例です。

06 始動方法

1 ホースタップのコックを開く

コックはまっすぐ平行に。

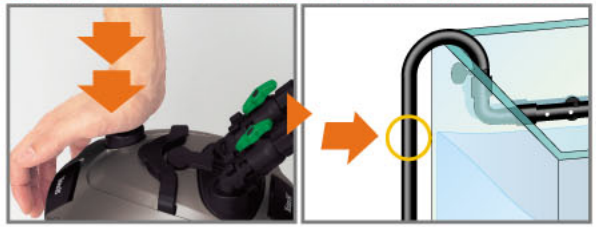


吸水・排水ホースタップのコックの向きを、ホースタップ本体に対して平行位置にします。

2 モーターヘッドのスタートボタンを押して呼び水を開始

スタートボタンで水が流れ出します。

注）フィルターケース内に水が入った状態で スタートボタンを押さないでください。



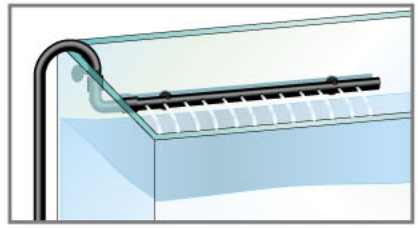
水が自然に呼び込まれるまで、モーターヘッドのスタートボタンを手のひらで素早く繰り返し押してください。サイホンにより吸水側ホースに水が流れてフィルターケース内に水が入り、排水側ホースの水が水面水位付近にまであがると吸水が止まります。

始動時は排水パイプを水面より上に設置してください。

3 プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

電源を入れると、排水パイプより水が出ます。





この時各部所に水漏れがないかどうかをチェックしてください。さらに30～60分後にフィルターが正常に作動しているか、水が漏れてないかどうかを再度確認してください。

※排水パイプより十分な排水量がない時は、プラグを電源コンセントより抜き、ホースの接続、折れ曲がりがないかどうかを再度確認してください。
また、プラグを電源コンセントに差し込んだ状態で本体を軽く左右に揺らして内部のエアーを放出するのも効果的です。

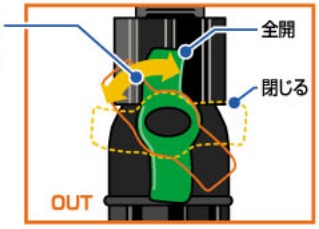
4 流水量の調節方法

フードを与える時などのために、流水量を調節できます。



45°までで調節

排水側（OUT）のコックを閉めます。



モーターヘッドに取り付けたホースタップのコックで流水量を調節できます。流水量を減らす場合は、排水側ホースタップのコックで調節してください。

流水量の調節は左へ45°までにしてください。90°で完全に流水が止まります。

※排水する水量が極端に少ない場合、モーター部の冷却効果が低下し、モーターが停止してしまうことがあります。
※流水量を減少させている場合、長期間の使用によりろ材の目づまりが発生し、当初調節した以上に水量が弱くなることもありますので、流水量調節時はご注意ください。

目づまりや、汚れの付着によりフィルターの流水量が低下しないように定期的に点検・掃除を実施してください。
点検・掃除の時は水漏れに備えてタオルや防水シートを敷いて作業してください。

1 点検・掃除の前に

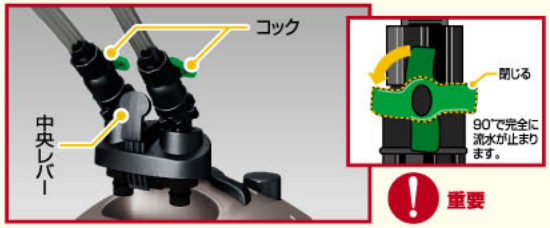
ご注意ください。



点検・掃除を実施する時は、電源を切って必ずモーターを止めてから実施しましょう。

2 ホースアダプターユニットをはずす

ホースアダプターユニットをモーターヘッドから取りはずします。



重要

ユーロエックスパワーフィルターのホースアダプターユニットには、吸水・排水の流れを止める機能はありません。ホースアダプターユニットを外すときは必ずホースタップのコックを閉めて（90°横に）から中央レバーを引き起こしてください。

3-1 フィルターを開ける

セイフティバックルの固定を解除します。



❶ テトラロゴマークの付いたセイフティバックルを下から上に持ち上げて固定を解除します。

親指を挟まないようご注意ください。

3-2 フィルターを開ける

先にセイフティバックルが外れていることを必ず確認してください。



❷ リフトバックルの下部を持ち上げて開きます。これによりモーターヘッドが少し持ち上がります。

必ずセイフティバックルから外していただかないとモーターヘッドは外れません。



❸ リフトバックルの片側を掴み、フィルターケースフレームをおさえて上に持ち上げ取りはずします。

4-1 フィルターケース内の各種ろ材を洗浄

❶ フィルターケースよりろ材固定盤、ろ材コンテナを取り出します。



（写真はEuroEX75です）

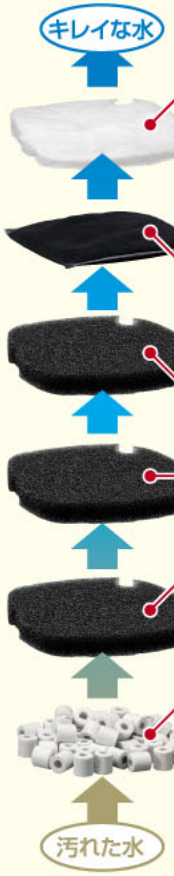
❷ フィルターケース内のろ材を洗浄します。



取り出したろ材コンテナのろ材に付着している汚れとゴミを、水槽の水か水槽の水と同じ水温のカルキを中和した水で洗い流してください。（この時、水道水で直接ろ材を洗浄しますと、ろ材に付着・繁殖していますろ過バクテリアを水道水のカルキ（塩素）で死滅させてしまいます。）

水道水での直接洗浄は厳禁。

❸ 各種ろ材の役割とその交換時期。



MEDIA 5/5L
EXウールマット 物理ろ材

1〜4のろ過で残ったた細かな汚れを、目の細い素材で物理的にろ過します。**最低1ヵ月に1度交換してください。**

MEDIA 4
活性炭（黒） 吸着ろ材

活性炭がにごり、黄ばみ、悪臭を吸着します。**1ヵ月に1度の目安で交換してください。**

MEDIA 2/2L
EXブラックスポンジ 物理・生物ろ材

目の粗いスポンジ表面にろ過バクテリアを繁殖させ汚れを分解、ゴミなども物理的にろ過します。**交換の目安は、約6ヵ月に1度。**

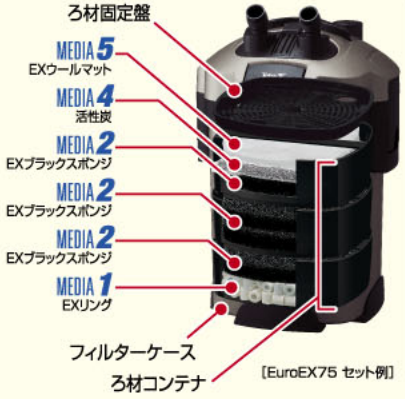
MEDIA 1
EXリング 物理ろ材

様々な方向を向いたリング状セラミックが大きなゴミなどを物理的にろ過しながら、水の流れを分散させて、フィルター全体に行き渡らせます。**表面の汚れ（ぬめりなど）が洗浄しても除去できなくなりましたら交換してください。**

※MEDIA 2 EXブラックスポンジとMEDIA 5 EXウールマットはEX60/75/90用とEX120用とではサイズが異なります。EX120用は商品名の最後に"L"が付きます。

4-2 フィルターケース内の各種ろ材を洗浄

❹ ろ材の洗浄が終わりましたら、設置時と同じ手順でろ材コンテナにろ材をセットしてください。



［EuroEX75 セット例］

ろ材コンテナ	EuroEX60	EuroEX75	EuroEX90	EuroEX120
上から1段目	MEDIA 5 MEDIA 4 MEDIA 2	MEDIA 5 MEDIA 4 MEDIA 2	MEDIA 5 MEDIA 4	MEDIA 5L MEDIA 4
上から2段目	MEDIA 2 MEDIA 1	MEDIA 2 MEDIA 2	MEDIA 2 MEDIA 2	MEDIA 2L MEDIA 2L
上から3段目		MEDIA 2 MEDIA 1	MEDIA 2 MEDIA 2	MEDIA 2L MEDIA 2L
上から4段目			MEDIA 2 MEDIA 1	MEDIA 2L MEDIA 1

交換用ろ材のご案内 EX POWER MEDIA

ろ材の交換にはテトラ エックスパワーフィルター専用の交換用ろ材をご利用ください。各ろ材の交換の目安に合わせてろ材を交換されることをお勧めいたします。（ユーロエックスパワーフィルターのろ材としてご利用いただけます）



MEDIA 1 EXリング 物理ろ材

内容量 500mℓ

洗浄しても汚れが除去できなくなったら交換してください。



MEDIA 2/2L EXブラックスポンジ 物理・生物ろ材

内容量 2 枚

6ヵ月に1度の目安で交換してください。

※EuroEX60/75/90はMEDIA 2
EuroEX120はMEDIA 2L



MEDIA 3 EXバイオボール 物理・生物ろ材

内容量 800mℓ

洗浄すればずっと使用できます。EXリングまたはEXブラックスポンジの替わりとしてご利用いただけます。



MEDIA 4 EX活性炭／生分解性ろ材 吸着／脱硝化ろ材

内容量 2 袋

1ヵ月に1度の目安で交換してください。（ネット付き）



MEDIA 5/5L EXウールマット 物理ろ材

内容量 2 枚

1ヵ月に1度交換してください。

※EuroEX60/75/90はMEDIA 5
EuroEX120はMEDIA 5L

オプションろ材



MEDIA 41 EXバイオマット 物理・生物・吸着ろ材

内容量 4 個

1ヵ月に一度の目安で交換してください。

※写真は現物と異なる場合がございます。

5 ホース内部の洗浄

ホースの内部にゴミやコケが付着すると、流水量の低下につながります。ホース内部に水道などを利用し強く水流を流したり、EXホースクリーナー（別売）を利用して、内部の汚れを洗い流してください。

6 インペラーケース部のメンテナンス

インペラーケース部を掃除します。

❶ インペラーケース部カバーを矢印のようにOPEN側（反時計回り）に回し、カバー部分を上に引き抜きます。







❷ インペラーケース内部のインペラーとシャフトをラジオペンチなどで引き抜き、掃除用ブラシ（EXパイプ／モータークリーナー／別売※）でこすり、洗浄します。



※交換する時、先端のゴムラバーがモーターヘッド内に残ることがあります。その場合はピンセットなどで取り出してください。

※EXパイプ／モータークリーナー（別売）

掃除が終わりましたら分解した時と逆の順序で、インペラードライブマグネット、インペラーケース部のカバーをセットします。❶に示した矢印のようにCLOSE側（時計回り）にロックが正常位置にはまるように押し込んでください。

専用アクセサリー&パーツのご案内 EX POWER ACCESSORIES & PARTS

テトラ エックスパワーフィルター用のアクセサリーやパーツがご利用いただけます。

エックスパワー パーツ
EXインペラー／シャフト

（内容物）
インペラー1個
セラミックシャフト1本
ゴムラバー2個



機種名	品番	品名
※EuroEX60	78301	EXインペラー／シャフト（75用）
※EuroEX75	78302	EXインペラー／シャフト（90用）
EuroEX90	78302	EXインペラー／シャフト（90用）
EuroEX120	78303	EXインペラー／シャフト（120用）

エックスパワー パーツ
EXシャフト

（内容物）
セラミックシャフト1本
ゴムラバー2個



品番	品名
78306	EXシャフト（60/75/90用）
78307	EXシャフト（120用）

エックスパワー アクセサリー
EXパイプ／モータークリーナー



品番	品名
78413	EXパイプ／モータークリーナー

エックスパワー アクセサリー
EXホースクリーナー



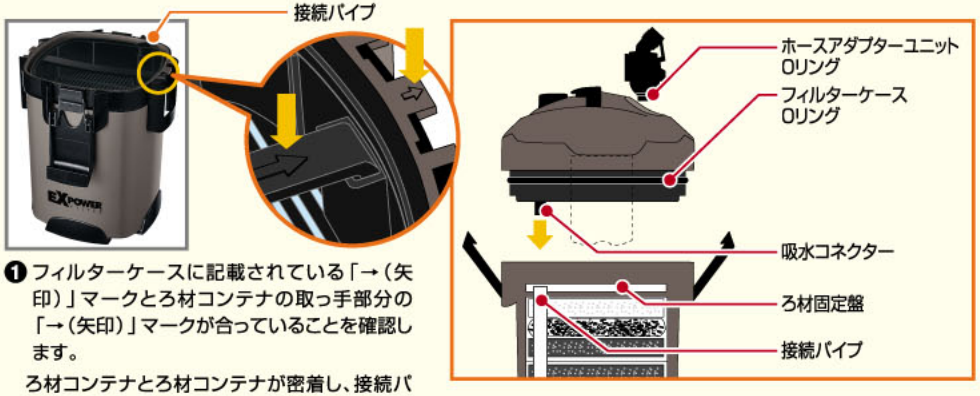
品番	品名
78414	EXホースクリーナー

※ユーロエックスパワーフィルターはEXインペラー／シャフトのサイズが従来とは変わる機種があります。ご購入の際はご注意ください。

※写真は実物と異なる場合がございます。 ※小売価は販売店にお問い合せください。

7 モーターヘッドの装着

すべての掃除が終了しましたら、ろ材コンテナが正しい向きにあることを確認し、モーターヘッドを装着します。



❶ フィルターケースに記載されている「→（矢印）」マークとろ材コンテナの取っ手部分の「→（矢印）」マークが合っていることを確認します。
ろ材コンテナとろ材コンテナが密着し、接続パイプ同士が一つのパイプとして通じていることを確認してください。

❷ 最上段のろ材コンテナの上にろ材固定盤を載せます。

❸ モーターヘッドをフィルターケースに装着する前に、モーターヘッドの溝に取り付けられているフィルターケースOリングに、汚れや異物の付着がないか、また、フィルターケースOリングがモーターヘッドの溝から、はずれていないかを確認してください。汚れや異物の付着がありますと、水漏れの原因となります。フィルターケースOリングをチェックしたあと、モーターヘッドの吸水部をろ材コンテナ接続パイプに合わせて装着します。

モーター部の吸水コネクター部とろ材コンテナの接続パイプ位置を合わせて、モーター部をセットします。位置が違っていますと、モーター部とフィルターケース部は固定できません。



※固定用のリフトバックルとセイフティバックル（テトラロゴ付）の位置を確認し、正しい位置で4カ所を閉じてください。位置が違っていますと、バックルは固定できません。

8 ホースアダプターユニットの取り付け

❶ ホースアダプターユニットを押し込みます。



フィルターを垂直になる場所に置き、ホースアダプターユニットの中央レバーを引き起こした状態でモーターヘッドへ押し込みます。

中央レバーは取り付けるまで動かさないでください。

❷ ホースアダプターユニットを固定します。



モーターヘッドに取り付けたあと、中央レバーを倒します。中央レバーを倒したあと、ホースタップのコックがホースタップと水平になっているかを確認します。

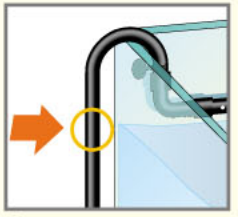
ホースアダプターユニットがしっかりとモーターヘッドの奥に固定されていることをご確認ください。

9 呼び水

水が流れ出したら、メンテナンス前と同じ最適な水量に調節することをお忘れなく。



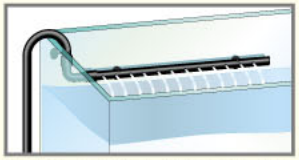
❶ ホースアダプターユニットとホースタップのセットが完了し、吸水・排水ホースタップのコックの向きが、ホースタップに対して平行位置にあることを確認しましたら、モーターヘッドのスタートボタンを最下部まで手のひらで繰り返し押してください。これによりフィルター内に水が吸水されます。



❷ フィルターケース内に水が十分に入り、水槽の水面位置までホース内の水が上がった事を確認します。



❸ コンセントを入れてフィルターを作動させます。



排水パイプから水が流れ出しましたら完了です。

専用アクセサリー&パーツのご案内

EX POWER ACCESSORIES & PARTS

テトラ エックスパワーフィルター用のアクセサリーやパーツがご利用いただけます。

エックスパワー パーツ

EXフィルターケースOリング

（内容物）
フィルターケースOリング1個
ホースアダプターユニットOリング2個



品番	品名
78304	EXフィルターケースOリング（60/75/90用）
78305	EXフィルターケースOリング（120用）

エックスパワー アクセサリー

EX吸着盤・クリップセット

（内容物）
EX60/75/90用
吸着盤16個
ロングクリップ（大2個、小6個）
ショートクリップ（大2個、小6個）
EX120用
吸着盤×7
ロングクリップ（小7個）
ショートクリップ（小7個）



品番	品名
78401	EX吸着盤・クリップセット（60/75/90用）
78402	EX吸着盤・クリップセット（120用）

エックスパワー アクセサリー

EXホース

（内容物）
EX60/75/90用
内径φ12mm
EX120用
内径φ16mm



品番	品名
78403	EXホース3m（60/75/90用）
78404	EXホース1.5m（120用）

エックスパワー アクセサリー

EX吸水パイプ&ストレーナー

（内容物）
伸縮吸水パイプ1本
ストレーナー1個



※EXオーバーフローパイプと併せてご利用ください。

品番	品名
78405	EX吸水パイプ&ストレーナー（60/75/90/120用）

エックスパワー アクセサリー

EX排水パイプセット

（内容物）
EX60/75/90用
排水パイプ2本
止水栓1個
L型コネクター1個
EX120用
排水パイプ2本
止水栓1個
ジョイント1個



※写真はEX60/75/90用

※EXオーバーフローパイプと併せてご利用ください。

品番	品名
78407	EX排水パイプ（60/75/90用）
78408	EX排水パイプ（120用）

エックスパワー アクセサリー

EXオーバーフローパイプ

（内容物）
EX60/75/90用　EX120 吸水用



品番	品名
78409	EXオーバーフローパイプ（60/75/90用）
78417	EXオーバーフローパイプ（120吸水用）
78418	EXオーバーフローパイプ（120排水用）

※写真は実物と異なる場合がございます。　※小売価は販売店にお問い合せください。

08 故障・異常の際の見分け方と処置方法

■テトラ ユーロエックスパワーフィルター管理

主な異常とその見分け方、および処置方法は下記の表の通りです。

現象	原因	処置方法
モーターヘッドをフィルターケースに装着できない	ろ材コンテナとフィルター部に記載されている「→(矢印)」マークの位置が違っている	「→(矢印)」マークの位置を正しい位置に合わせる
	ろ材コンテナ同士の重ね方不良	ろ材コンテナ接続パイプを互いにズレないように重ねる
	ろ材の詰めすぎ	余分なろ材を取り除き、ろ材表層を平らに整える
モーターヘッドから水が漏れる	ホースアダプターユニットの装着不良	ホースアダプターユニットを正しく装着し直す
	リフトバックル、セイフティバックルをしっかりと閉じていない	すべてのリフトバックル、セイフティバックルをしっかり閉じる
	フィルターケース部やOリングに異物や汚れが付いている	密着させたフィルターケース部やOリングをよく洗い、きれいにする
	Oリングの未着装、ズレ、損傷、劣化	Oリングの装着、あるいは交換
	モーターヘッドの角が破損している	モーターヘッドを交換する(※販売店にご相談ください)
モーターが回転しない	電源が入っていない	電源を入れる
	シャフトの折れ	シャフトを交換する(※販売店にご相談ください)
	インペラーの欠落、または砂利や貝殻などの異物の詰まり	インペラーのセット、または駆動部分の掃除
水流が弱くなる(ろ過機能の低下)	ホースアダプターユニットの汚れ	ホースアダプターユニットを取りはずし、内部をEXパイプ／モータークリーナー(別売)で掃除する
	ホース取り付け不良	ホースの折れ曲がりや、他の物にはさまれていないかチェックし直す
	ホース内部の汚れ	ホース内部を定期的に掃除し、吸水パイプや排水パイプをEXホースクリーナー(別売)かEXパイプ／モータークリーナー(別売)で掃除する
	吸水ストレーナーの詰まり	ゴミを取り除き、汚れを洗い取る
	ろ材の目詰まり	ろ材をろ材コンテナから取り出し、水槽水で洗う
	ろ材用ネットなどの使用	ろ材を付属以外のネットやナイロンストッキングに入れて長期間使用しないこと。使用すると短期間で目詰まりし、水流を妨げる原因となる
	ろ材の組み合わせ不良	取扱説明書通りにろ材がセットされているかどうかチェックする(P.4参照)
	EXウールマット(白)が汚れている	新品に取り替える
	モーター内部の汚れ	モーターヘッドの駆動部分や水路を丹念にEXパイプ／モータークリーナー(別売)で掃除する(日常のお手入れの頁参照)
	水が循環しない	始動時、排水パイプが完全に水面より上になっているかどうかを確認(フィルター内部の空気を排出させるために必要)し、スタートボタン(呼び水自動機能)を押す
	ホースにアクセサリーや他社装置の接続	アクセサリーや他社装置の接続は流量低下の原因となるので、ご利用はおひかえください

現象	原因	処置方法
エアーがたまる	本体の水面位置との高低差が十分でない	必ずP.4に示す設置位置を守り、水槽水面水位より低い位置に本体をセットする
	ろ材の目詰まり	ろ材を洗浄する
	ホースアダプターユニットの接続部よりエアーが混入している	ホースアダプターユニットを正しく装着し直す
自動呼び水がうまくいかない	ホースアダプターユニットの装着不良	ホースアダプターユニットを正しく装着し直す
	本体の水面位置との高低差が十分でない	必ずP.4に示す設置位置を守り、水槽水面水位より低い位置に本体をセットする
	フィルターケース内および排水部に接続されているホースやパイプ、各種機器内(殺菌灯など)に水が残っている	フィルターケース内および排水部に接続されているホースやパイプ、機器内の水は必ず抜いてください
運転開始時の異常音	ホース接続箇所からエアーが侵入している	ホース接続部をチェックし、しっかりと接続されているかどうかを確かめる
	フィルターケース内にエアーが残っている	電源が入っている状態で、本体を軽く左右に揺らして内部に残っているエアーを放出させる
連続運転中の異常音	ホースタップのコック部分が、ホースタップと平行になっていない	ホースタップのコック部分をホースタップと平行にする
	呼び水が不十分なため、水が連続して流入していない(不十分な呼び水による流入水の停滞)	スタートボタンを使って最初から正しくやり直す
	モーター最上部が、水面と同等または高い位置にある	モーター最上部が必ず10cm以上水面より低い位置にあるようにする
	本体内部の空気残留	プラグを3~4回抜いたり差し込んだりする。軽く本体をゆらし、空気を抜く
	インペラーあるいはシャフトの破損	部品を交換する(※販売店にご相談ください)
	10秒以上ごとに1回シャーという音がして、排水パイプよりエアーが抜ける	バクテリアの呼吸や水草の光合成などによって生じる気泡がEuroEXパワーフィルター内にたまって排出される音で、故障ではありません
	インペラー部の水アカ・汚れや異物による流量の低下	モーターは水冷モーター型なので、駆動部に水アカや汚れなどを付着させたまま使用すると流水量を低下させ、モーターの寿命を短くします。定期的にインペラーやその収納部をEXパイプ／モータークリーナー(別売)で掃除する
	スタートボタンが押されている	運転中はスタートボタンを押したり、同部に物を載せない

※上記に該当しない場合は、テトラ製品販売店またはテトラ インフォメーションセンター(P.19参照)にご相談ください。

●品質向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。予め、ご了承くださいますようお願い申し上げます。